

## 「都市の緑3表彰」の受賞者決定について

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣精二、以下「当社」と)と一般財団法人第一生命財団(理事長:斎藤勝利、以下「当財団」)が支援する「都市の緑3表彰」(緑の環境プラン大賞、緑の都市賞、屋上・壁面緑化技術コンクール)の受賞者が別紙のとおり決定しました。

### 1. 第33回「緑の環境プラン大賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団)

緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティ醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプラン実現のために緑化整備費を助成するものです。

### 2. 第42回「緑の都市賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構 特別協賛:一般財団法人第一生命財団)

緑豊かな都市づくりの推進を目的に、緑を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰するものです。

### 3. 第21回「屋上・壁面緑化技術コンクール」

(主催:公益財団法人都市緑化機構 特別協賛:一般財団法人第一生命財団)

都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果を挙げている団体、個人等を表彰するものです。

当社および当財団は、社会貢献取組方針の中心テーマの一つとして掲げる「環境の保全」、さらにはSDGsの目標11(住み続けられるまちづくりを)、目標13(気候変動に具体的な対策を)に資するものとして、都市緑化の推進や景観の向上、地域社会の活性化など、それらを通じた地域コミュニティの形成等につながる当賞を長年にわたって支援しています。



(別紙1) 第33回「緑の環境プラン大賞」審査結果

(別紙2) 第42回「緑の都市賞」審査結果

(別紙3) 第21回「屋上・壁面緑化技術コンクール」審査結果

## 第 33 回 緑の環境プラン大賞 審査結果

全国から、シンボル・ガーデン部門8点、ポケット・ガーデン部門 25 点、計 33 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。

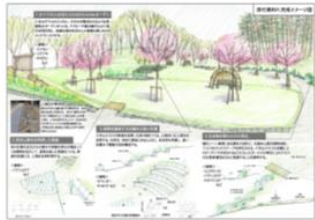

### ■シンボル・ガーデン部門(助成額上限:800 万円/点)

緑の持つヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより人と自然が共生する都市環境の形成、およびコミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ地域のシンボリックな緑地プラン


### ■ポケット・ガーデン部門(助成額上限:100 万円/点)

日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだプラン

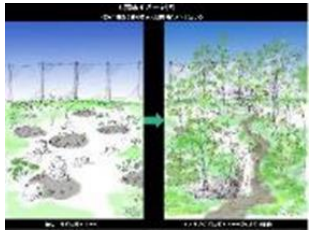
◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	住民が憩う新しい里山 「八木山テラス」の 創生 (宮城県仙台市)	金剛沢緑地 愛護協力会	「八木山テラス」は、宅地開発された仙台市の市街地に残る「金剛沢緑地」の一部で、本プランは東北大学から譲り受けた仙台城二の丸の石垣を再利用した雨庭やビオトープを整備するものです。適度に手入れされ豊かな生き物を育む里山と、季節を彩る草花が植栽された広場が融合した市民の憩いの場の創出を目指すプランです。	
ポケット・ガーデン	緑が育つ人が集まる みんなのガーデン 「ららぱーく」 (千葉県市原市)	花咲き山	長年地域の憩いの場として親しまれ、小学校の校外学習の場としても活用されてきたコミュニティガーデンを、近隣の城跡の史跡指定をきっかけに更に充実させ、多世代交流促進のために整備するプランです。被災地の桜などを植樹してシンボルツリーとしているほか、落ち葉や竹チップの再利用など環境への寄与にも配慮しています。	


◎都市緑化機構賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	北潟湖畔ガーデン 体験と交流が生まれる クロステラス (福井県あわら市)	特定非営利 活動法人 アワラート awarart	北潟湖の河川敷に、カフェやマルシェ、ピクニック、自然体験プログラム、北潟湖の眺望、コミュニティガーデン等多彩なプログラムが展開される広場を整備し、近隣住民のみならずサイクリングやドライブの来訪者を含めた、多世代、他分野の様々な人々が集い憩う空間づくりとエシカルな社会づくりを目指すプランです。	





◎第一生命賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	札幌イオルの森 (北海道札幌市)	札幌アイヌ協会	アイヌ文化を支える食料や木材などを供給する、居住地(コタン)周辺の山や川の環境「イオル」の再生は、アイヌ文化の振興に不可欠です。「札幌市アイヌ文化交流センター」の敷地の一部に、アイヌ民族が利用してきた在来種の森「イオル空間」を「生態学的混播・混植法」により整備し、アイヌ文化の振興と継承を目指すプランです。	

◎第一生命財団賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	自然やいのちと 共生する不登校の 子どもの居場所づくり (滋賀県大津市)	一般社団法人 異才ネットワーク	不登校の子どもたちの心身の健全な育成と自立を、緑を通じてサポートする拠点を考えるプランです。仲間と共に畑作業などの土いじりをする事で、命との共生を実感することができます。さらに地域住民と共に野菜やハーブを収穫し、調理や食事をする等の交流を通じて、不登校生徒への理解を深め地域コミュニティへ溶け込む環境を作ります。	

◎コミュニティ大賞 <8点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	食・農・遊び 五感を育む園庭作り プロジェクト (宮城県遠田郡美里町)	社会福祉法人 想伝舎	子どもたちが食農体験を通じて自然の造形や色彩の美しさ、発見の喜びに会うことのできる園庭を作るプランです。収穫物の販売等を通じて、子どもたちが周辺住民とのつながりや自然の循環を体感し、五感を育みながら健全な成長を目指す環境を提供します。	
	みんなの広場 いこいの杜(もり) (群馬県藤岡市)	群馬県立 藤岡北高等学校 環境土木科 ガーデニングコース	高校生がSDGsをコンセプトに考えたプランです。藤岡特別支援学校の農作業学習の休憩場所と、地域住民と支援学校生徒の相互理解を深める交流の場としての役割を果たす「いこいの杜」を作ります。ブドウ棚や丸太椅子は木材を再利用するなど、環境にも配慮しています。	
	富岡の歴史に触れる庭 プロジェクト (群馬県富岡市)	群馬県立 富岡実業高等学校 草花部	国の登録有形文化財であり、かつてツツジの名所であった「富岡市社会教育館」の庭園の再生を目指すプランです。地域住民や来訪者にツツジを中心とした季節の花々を楽しみ、富岡市の歴史と自然への関心を高めてもらうと共に、ツツジの苗木配布やイベント開催等を通じて環境整備や地域活性化につなげていきます。	
	みんなの花壇 プロジェクト (新潟県北蒲原郡 聖籠町)	新潟県立 島見緑地 聖籠緑地 指定管理者 株式会社日建緑地	「公園で健康に」のコンセプトのもと、多くの人を訪れる県立公園内に5つのテーマに基づいた多彩な花々を植栽するプランです。人と植物をつなぐ地域の交流拠点として、花壇作りや園芸療法士によるプログラムの実践などに取り組み、住民の健康増進と憩いの場を提供します。	




部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	どんぐりの森 コミュニティガーデン (岡山県備前市)	特定非営利 活動法人 備前プレーパークの会	保育園に隣接する敷地に様々な樹木を植栽し、子どもたちが活発に遊び健やかに育つ「どんぐりの森」として整備するプランです。小さなどんぐりの実が大きな木に成長していくように、この公園作りを通して子ども・親・地域の大人たちをつなぎ、人と環境に優しいコミュニティの形成へと広がっていきます。	
	ウェルカム 「レイン」ガーデン ”ぽぽぽ” (香川県高松市)	香川大学 創造工学部 環境デザイン 工学領域	都市型氾濫対策のひとつとして日本でも注目されつつある、グリーンインフラの一形態「雨庭(レインガーデン)」を大学構内に設置するプランです。学生・教職員が専門知識を活かして、デザイン、設計、造成に至るまで協同で行います。造園材の一部に建築廃材を積極的に活用するなど、環境面にも配慮しています。	
	1年まいにちワクワクを見つけに行こう! (大分県中津市)	社会福祉法人 如水福祉会 如水こども園	季節感ある花や果樹を植栽して、子どもたちが1年の変化を楽しみ、ワクワクしながら自然を感じられる園庭を作るプランです。園路は自然素材の三和土を使用して園児や保護者、周辺住民が協働で作成し、地域交流を深める場とします。	
	季節を感じる熊農緑地 ～地域の拠点としての 役割を発信する 空間づくり～ (熊本県熊本市)	熊本県立 熊本農業高等学校	創立124年目を迎える農業高校内の敷地をリニューアルするプランです。花や紅葉を楽しめる樹木を植栽し、地域住民に季節感を感じてもらえる憩いと交流の場とするほか、災害時の避難場所としても活用します。また、飼育動物の見学や野菜の収穫体験に訪れる近隣の園児たちが、安心して遊び回ることのできる環境の整備も行います。	



## 第 42 回 緑の都市賞 審査結果


全国から、緑の市民協働部門 18 点、緑の事業活動部門 12 点、緑のまちづくり部門6点、計 36 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。(副賞:「緑の市民協働部門」のみ5~20 万円)

### ◎内閣総理大臣賞<1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑のまちづくり部門	持続可能な 「森の都」の大展開 (熊本県熊本市)	熊本市	歴史文化と自然環境の恵みにあふれる「森の都」である熊本市では、近年、緑の質の向上を課題に、中心市街地にて産学官民で連携した様々な緑・オープンスペースの施策に取り組み、成果を上げている。市域全体で緑のまちづくりを推進している点が高く評価された。	

### ◎国土交通大臣賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	時を超える 杜のキャンパス —— 響き合う 自然・人・学び (宮城県仙台市)	学校法人 宮城学院/ 水の森里の会	都市部に残る貴重な緑地を、杜の都のグリーンインフラとして捉え、学院と市民団体が協働で保全・再生に取り組んでいる。自然環境を活かした教育プログラムの創出、豊かな心を育む学び舎の醸成、地域コミュニティと連携した「みどりの文化」の発信が高く評価された。	
緑の市民協働部門	都市公園でのビオ トープとナチュラル ガーデンづくり (滋賀県大津市)	森の風音/ せた♪森の ようちえん	滋賀県営都市公園「びわこ文化公園」での里山作業や草花・樹木の育成活動を通じ、高齢者の健康福祉と、子どもたちの野外保育の場を整備している。長期に渡る森林内環境整備に加え、「森のようちえん」を誘致し取組みを拡充している点が高く評価された。	


緑のまちづくり部門	公園再整備が牽引する 公民連携まちづくり (愛知県岡崎市)	岡崎市	公共空間を活用した公民連携プロジェクトを実施することで、対象エリア内の回遊を促し、街の活性化を図る取組みが進められている。地元団体や民間事業者を巻き込みながら、暮らしの質とエリアの価値の向上等の取組みが評価された。	
-----------	-------------------------------------	-----	---	---

◎都市緑化機構会長賞 <3点>



部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	里山まるごと 花と雑木による 木漏れ日計画 (山口県周南市)	「鹿野の風」 プロジェクト	人口減で苦しむ田舎で花や緑の力を借りた木漏れ日計画を11年前に開始し、雑木の植樹、オープンガーデンの開催、ベンチの設置、山野草の森作りと活動を拡げ、最終ゴールを素敵な「日本一のカフェの里」実現とし、沈む地域に希望の風を吹込むことを目指している。	
緑の事業活動部門	東京ワールドゲート “葺城の森“ (東京都港区)	森トラスト株式会社/株式会社安井建築設計事務所/清水建設株式会社/株式会社ランドスケープ・プラス/株式会社ワークテクト	歴史や文化、生物多様性、省エネルギー、グリーンインフラの実装等、様々な配慮が施された緑地を創出。ポストコロナを見据え、オフィスワーカーや地域の人々等の施設利用者が、豊かな緑のなかで快適に過ごすことができる環境を整備している。	
緑のまちづくり部門	上尾丸山公園 水辺再生事業 みんなの「カ・緑」 (埼玉県上尾市)	上尾市	水質悪化や外来種による生態系の劣化が課題となっていた上尾丸山公園の大池にて、市民ボランティアと協働で、かいぼりによる外来種の駆除や湿地帯の整備などの取組みにより、地域本来の自然再生と水質回復を進めると共に、地域社会の活性化に貢献している。	




◎第一生命財団賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	育てる芝生 ～イクシバ! プロジェクト～ (東京都中央区)	育てる芝生 ～イクシ バ! プロ ジェクト～	東京都中央区晴海にある黎明橋公園の芝生広場にて、「芝生育ては地域育て」をコンセプトに、地域住民の主体的なボランティア活動が実施されている。近隣住民が家庭で育成した芝苗を自ら植えるなど、芝生広場づくりを通じ、地域コミュニティの醸成に貢献している。	

◎奨励賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	取手市里山・谷津田 保全「いもりの里」 事業 (茨城県取手市)	取手市里 山・谷津田 保全「いも りの里」 協議会	耕作放棄された里山・谷津田を守り豊かな自然を次世代に継承するため、市民、大学、自治体が協力し、アカハライモリをひとつの指標とし、自然環境の再生保全を進める取組みを、教育や研究、コミュニティの形成等にも役立てながら展開している。	
緑の事業活動部門	CO・MO・RE YOTSUYA (コモレ四谷) (東京都新宿区)	株式会社 日本設計 /独立行 政法人都 市再生機 構/株式 会社三菱 地所設計 /大成建設 株式会社 一級建築 士事務所	都心部に立地する大規模複合施設。周辺の江戸城外堀をはじめとする変化に富んだ地形や自然・歴史・街並みとの融合、調和を図りつつ、防災機能も備えた複数の広場や、敷地内歩行者通路の整備により、回遊性や地域との繋がり、憩い、賑わいの場を創出している。	





<p>緑の事業活動部門</p>	<p>東京ポートシティ 竹芝オフィスタワー (東京都港区)</p>	<p>東急不動産株式会社/ 鹿島建設株式会社/ 株式会社ランドスケープデザイン</p>	<p>官民連携による再開発プロジェクトで、地上から6階までステップ状に連続するテラスに施された緑地は、近隣住民やオフィスワーカー等施設利用者の交流・憩いの場であり、緑が持つ様々な環境貢献機能を体感できるものとなっている。</p>	
-----------------	---	---	--	---


## 第 21 回 屋上・壁面緑化技術コンクール 審査結果


全国から、屋上緑化部門6点、壁面・特殊緑化部門4点、特定テーマ部門1点、計 11 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。

### ◎国土交通大臣賞 <2点>



部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	GREEN SPRINGS (東京都立川市)	株式会社立飛ホールディングス/株式会社立飛ストラテジーラボ/株式会社ランドスケープ・プラス/株式会社山下設計/株式会社大林組/株式会社日比谷アメニス	本作品はJR立川駅北側の複合施設の緑化である。各施設は圧倒的な緑と水に囲まれた約1haの広場に面し、緑豊かな屋外とつながる縁側空間が設けられている。玉川上水のせせらぎを再生した「カスケード」、多摩川の湾処環境を再現した「ビオトープ」は子どもたちが地域の環境を学べるフィールドになっている。	
壁面・特殊緑化部門	JR熊本駅ビル (熊本県熊本市)	九州旅客鉄道株式会社/株式会社JR熊本シティ/株式会社日建設計/株式会社大林組/安藤造園土木株式会社/株式会社グリーバル	本作品は商業ビルのパブリックスペースの緑化である。高さ約30mの石壁の壁面緑化と階層状の屋内緑化による「立体庭園」は、阿蘇地方特有の自然のエッセンスを取り入れ、人々に健康と幸福を与えるバイオフィリックデザインに取り組んでいる。庭園内では心地よい水音や自然に近い空気の流れを生み出している。	

### ◎環境大臣賞 <2点>


部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	東京ポートシティ竹芝オフィスタワー (東京都港区)	東急不動産株式会社/ 鹿島建設株式会社/ 株式会社ランドスケープデザイン	本作品はオフィスタワーの2～6階までの立体広場の緑化である。約1,700㎡の屋上緑化と約300㎡のグリーンカーテンで囲まれたスキップテラスでは、「竹芝新八景」というテーマのもと、養蜂や水田、ハーブガーデン、菜園などの様々な環境教育の取組みが実施され、そのにぎわいが街へと広がっている。	

壁面・特殊緑化部門	CO・MO・RE YOTSUYA (コモレ四谷) (東京都新宿区)	大成建設株式会社 一級建築士事務所 /独立行政法人都市再生機構/ 株式会社日本設計 /株式会社三菱地所設計	本作品は四ツ谷駅前に立地する複合施設の緑化である。十分な土量を確保した多面基盤植栽は、竣工初期からボリューム感のある緑を創出した。地上部の緑地からステップ状に緑が連続する『丘』は、通年して緑量を保つよう計画しており、季節の変化を見せながらダイナミックな緑化空間を形成している。	
-----------	--	---	--	---

◎日本経済新聞社賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	日環アリーナ 栃木 (栃木県総合運動公園東エリア) (栃木県宇都宮市)	株式会社梓設計/ 大成建設株式会社 /株式会社安藤設計/ 有限会社ソラ・アソシエイツ	本作品は運動公園施設の緑化である。地下通路の周辺一帯を掘り下げ、2階の広場までを緩やかにつなぎ、公園との一体性を確保した。高茎草原群落を導入するため、県内から採集した苗や種を育成した『群集マット』を設置し、『交流の丘』、『マロニエテラス』をおおらかな原っぱのような空間に仕上げている。	
特定テーマ部門	竹中技術研究所・技術展示室 グリーンラウンジ (千葉県印西市)	株式会社竹中工務店/ 株式会社パーク・コーポレーション/ 国立大学法人千葉大学/ 株式会社朝日興産	本作品は屋外ワークスペースの緑化である。基盤厚さ10mmで多様な樹木が生育する薄層緑化システムを開発することで、耐荷重性能が低い屋上空間でも、樹木植栽による四季を彩る緑化空間を創出した。さらにこの場で園芸活動を提供し、小規模緑化空間でも勤務者の健康増進に活用できることも示された。	

◎都市緑化機構会長賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	WATERS takeshiba (東京都港区)	東日本旅客鉄道株式会社/株式会社JR東日本建築設計/ 株式会社ランドスケープデザイン/ 清水建設株式会社	本作品は2棟構成の複合施設の低層階テラスにおける緑化である。地上の芝生広場から、それを囲むように位置するテラスへと連続する立体的な植栽となっている。施設構造や、周辺環境に配慮した人工軽量土壌を用いた重層的な緑化空間は、季節の変化や彩りを身近に楽しむ地域の公園のような存在となっている。	

◎奨励賞 <該当なし>

以上